

令和3年度 山形県地域年金展開事業 取組結果報告書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

山形年金事務所
(山形県代表年金事務所)



日本年金機構

Japan Pension Service

目 次

1	地域連携事業	2頁
2	年金セミナー事業	7頁
3	地域相談事業	10頁
4	年金委員活動支援事業	14頁
5	「ねんきん月間」・「年金の日」の取組	18頁
6	「わたしと年金」エッセイ	19頁
7	第13回山形県年金ポスターコンクール	19頁
8	山形県地域年金事業運営調整会議	20頁
9	ねんきんネットの利用促進	23頁

1 地域連携事業

(1)年金制度説明会の開催及び研修会等への講師派遣状況

年金制度の周知を図るため、年金制度説明会の開催や各種団体、企業が主催する研修会等に講師を派遣しました。

事務所	企業・その他		社会保険 労務士会		社会保険協会		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
山 形	5回	88名	3回	82名	3回	152名	11回	322名
鶴 岡	2回	58名	1回	30名	3回	142名	6回	230名
米 沢	3回	94名	0回	0名	2回	67名	5回	161名
新 庄	0回	0名	0回	0名	2回	38名	2回	38名
寒河江	0回	0名	1回	33名	3回	58名	4回	91名
令和3年度末合計	10回	240名	5回	145名	13回	457名	28回	842名
(参考) 令和2年度末合計	3回	37名	1回	18名	12回	430名	16回	485名

(2)市町村担当者との打合せ等状況

年金事業の円滑な運営・推進のためには市町村との連携が不可欠であることから、管轄市町村の担当職員との研修会や打合せを行いました。県全体の取り組みとして、県内年金事務所で講師を分担し、オンラインによる制度説明会を6回開催しました。また、制度周知・啓発のため、市町村担当者向け情報誌「かけはし」の提供を始め、ポスターやリーフレットの設置について協力を依頼するなど連携し取り組みました。

※市町村担当者向け情報誌「かけはし」とは、2カ月に1回発行の定期的情報誌です。内容は、障害年金講座や各種申請書類の受付事務にかかる留意点等を掲載しています。

事務所	管内市町村		連携 (かけはし、ポスター・リーフレットの送付等)	合計	
	回数	参加者数	回数	回数	参加者数
山 形	3回	17名	14回	17回	17名
鶴 岡	2回	20名	6回	8回	20名
米 沢	2回	17名	7回	9回	17名
新 庄	1回	11名	6回	7回	11名
寒河江	3回	8名	7回	10回	8名
県全体	6回	150名	-	6回	150名
令和3年度末 合計	17回	223名	40回	57回	223名
(参考) 令和2年度末 合計	9回	70名	41回	50回	70名

(3)関係機関・関係団体との打合せ等状況

年金制度の周知・啓発事業を推進するために必要な取り組みとして、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、各関係団体の了解をいただきながら打合せ等を実施しました。主な取り組みは次のとおりです。

- ①山形県社会保険協会と連絡協議会を開催し、年金制度研修会等への講師派遣や広報誌「社会保険やまがた」に記事を提供するなど連携を図りました。
- ②山形県社会保険労務士会と業務連絡会議を開催し、年金相談窓口等の運營業務委託に関する調整や厚生年金適用・調査事務にかかる打合せを行いました。
- ③全国健康保険協会山形支部と連絡会議を開催し、年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式の開催や年金委員・健康保険委員の委嘱拡大勧奨等の取り組みについて連携を図りました。
- ④各地区社会保険委員会の役員会への出席、施設やコミュニティーセンターへ「ねんきんネット」普及促進のチラシの設置等協力を依頼しました。

事務所	社会保険協会	年金協会連合会	社会保険労務士会	全国健康保険協会山形支部	運営調整会議	官公署	その他 (上記④の内容)	合計
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
山 形	3回	1回	15回	5回	1回	1回	2回	28回
鶴 岡	0回	0回	6回	0回	0回	0回	0回	6回
米 沢	1回	0回	0回	0回	0回	0回	5回	6回
新 庄	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
寒河江	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
令和3年度末 合計	4回	1回	21回	5回	1回	1回	7回	40回
(参考) 令和2年度末合計	5回	1回	14回	5回	1回	8回	11回	45回

(4)地域型年金委員との連絡会等の開催状況

地域住民に対して、公的年金制度の重要性を説明し、啓発を行うとともに、年金に関する相談や助言を行っていただいている地域型年金委員との連絡会の開催については、情報の共有や委員相互の交流を図るために計画を立てたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、年金委員の皆様を参集することはできませんでしたが、資料等の提供を行いました。

事務所	連絡会		研 修		合 計	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
山 形	0回	0名	0回	0名	0回	0名
鶴 岡	0回	0名	0回	0名	0回	0名
米 沢	0回	0名	0回	0名	0回	0名
新 庄	0回	0名	0回	0名	0回	0名
寒河江	0回	0名	0回	0名	0回	0名
令和3年度末 合計	0回	0名	0回	0名	0回	0名
(参考) 令和2年度末合計	0回	0名	0回	0名	0回	0名

(5)報道機関との連携状況

山形県政記者クラブを通して、各報道機関に対し、6月に令和3年度「わたしと年金」エッセイ募集、10月には令和3年度「ねんきん月間」・「年金の日」の取り組み及び第13回山形県年金ポスターコンクール審査結果、11月には令和3年度年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式の開催について、周知を行いました。

(6)地域連携事業の取組結果

取組結果

地域年金展開事業の目玉の一つでもある「地域連携事業」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、回数は減ったものの、各種機関・関係団体の協力のもと、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、実施することができました。

- ・ 年金制度説明会は、令和2年度実施回数17回、受講者数487名に対し、令和3年度実施回数27回、受講者数842名、という結果でした。その中でも、山形県社会保険協会・山形県年金協会連合会主催の研修会は、新型コロナウイルス感染症対策が徹底されており、例年どおり講師を派遣することができました。
- ・ 関係機関(団体)との打合せについては、コロナ禍での、最低限の面談での打合せでありましたが、山形県社会保険協会広報誌への記事提供や、山形県社会保険労務士会との年金相談窓口等の運営業務委託に関する調整、全国健康保険協会山形支部と合同の「年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式」を開催することができました。
- ・ 地域型年金委員連絡会は、残念ながら開催することはできませんでしたが、地域住民に対しての、公的年金制度の重要性を広く啓発していくために、重要な取り組みとして進めていきます。

2 年金セミナー事業

(1)教育機関別年金セミナーのアプローチ状況

次世代の主役となる若年層から、年金制度の仕組みや必要性について理解を深めていただき、納付意識の向上や年金受給権の確保に結び付けるために、年金セミナー事業を推進してきました。令和3年度も、県教育委員会各部署(教育長)を訪問し事業の趣旨説明を行いご理解をいただきました。また、県内の大学・高等学校等の117校や中学校96校に対して、年金セミナーの開催について依頼しました。元学校長の方々に委嘱している地域年金推進員(令和3年度末現在、山形1名、米沢1名、新庄1名)と、各年金事務所担当者において、年金セミナーの実施に向けたアプローチを行ってきました。

事務所	大学・短大		専修学校		高等学校		中学校		特別支援学校		合計		
	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	実施率
山 形	7校	8回	15校	24回	18校	75回	25校	25回	9校	3回	74校	135回	182.4%
鶴 岡	3校	8回	4校	6回	16校	53回	22校	44回	3校	0回	48校	111回	231.3%
米 沢	3校	7回	2校	4回	13校	27回	18校	36回	3校	3回	39校	77回	197.4%
新 庄	—	—	3校	4回	8校	8回	15校	15回	1校	0回	27校	27回	100%
寒河江	—	—	—	—	6校	19回	16校	16回	3校	2回	25校	37回	148%
令和3 年度末 合計	13校	23回	24校	38回	61校	182回	96校	136回	19校	8回	213校	387回	181.7%
(参考) 令和2年度 末合計	13校	44回	24校	50回	61校	114回	97校	5回	19校	3回	214校	216回	100.9%

(2)教育機関別の年金セミナー実施状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により厳しいなかでの取り組みとなりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染対策にご協力をいただき、28校で実施することができました。これまでの取り組みを継続して取り組んできた成果として表れました。今後も年間を通した取り組みにより実施校を増やします。また、年度の早い時期からアプローチを行い、早い時期の年金セミナー実施を目指していきます。

事務所	大学・短大			専修学校			高等学校			中学校			特別支援学校			合計		
	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数
山形	7校	0校	0名	15校	7校	312名	18校	4校	619名	25校	0校	0名	9校	1校	25名	74校	12校	956名
鶴岡	3校	0校	0名	4校	1校	11名	16校	3校	488名	22校	0校	0名	3校	0校	0名	48校	4校	499名
米沢	3校	1校	49名	2校	1校	20名	13校	4校	327名	18校	0校	0名	3校	0校	0名	39校	6校	396名
新庄	—	—	—	3校	1校	111名	8校	3校	111名	15校	0校	0名	1校	0校	0名	27校	4校	222名
寒河江	—	—	—	—	—	—	6校	2校	114名	16校	0校	0名	3校	0校	0名	25校	2校	114名
令和3年度末合計	13校	1校	49名	24校	10校	454名	61校	16校	1,659名	96校	0校	0名	19校	1校	25名	213校	28校	2,187名
(参考) 令和2年度末合計	13校	1校	121名	24校	9校	302名	61校	29校	2,920名	97校	0校	0名	19校	0校	0名	214校	39校	3,343名

(3)年金セミナー事業の取組結果

取組結果

- ・ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、対面でのアプローチ、セミナーの開催が困難な状況となりましたが、回数は減少したものの、各学校のご理解をいただき、実施することができました。

これまでの継続したアプローチの取り組みが最も重要であり、その成果として表れています。

課題でありました、地域年金推進員の配置については、可能枠3名に対して3名配置されました。今後は、地域年金推進員の取り組み強化を図り、実施回数に結び付けていきます。

例年、1月以降に年金セミナー実施が多くなっているため、引き続き、次年度の実施を見据えたアプローチ内容として、年度前半での実施についても検討していただくよう要請していきます。また、未開催の高等学校については、粘り強くアプローチを継続していきます。

中学校での実施については、山形県内96校に年金セミナーの文書勧奨の送付を行い、一部中学校には「年金セミナー用動画」を提供する等勧奨を行ってきましたが、実施できていません。引き続き、アプローチ方法から検討します。

3 地域相談事業

(1) 年金事務所以外での出張年金相談の実施状況

年金事務所に出向くことが難しいお客様の利便性向上を図るため、出張年金相談を実施しています。

年金相談の周知・広報については、「日本年金機構からのお知らせ」に記事を掲載するとともに、市町村広報誌においても記事掲載の協力を得て実施しています。

また、鶴岡年金事務所管内では、山形県社会保険労務士会へ「街角の年金相談センター酒田」における年金相談窓口の運営を委託しております。

事務所	実施場所	実施計画日/回数	合計	相談者数
米 沢	長井市役所	4月・7月・10月・1月に各1回	4回	18名
	小国町役場	5月・8月・11月・2月に各1回	4回	16名
	白鷹町役場	6月・9月・12月・3月に各1回	4回	15名
新 庄	尾花沢市役所	毎月 / 1回（第3水曜日）	12回	55名
	大石田町役場	偶数月 / 1回（第2木曜日）	6回	29名
令和3年度末 合計			30回	133名
（参考） 令和2年度末 合計			30回	120名

(2)ハローワークにおける説明会での年金制度説明会実施状況

県内ハローワークにおける離職者を対象とした説明会の中で、離職者に対する国民年金に関する手続きの周知を図り、国民年金保険料免除制度についての説明や相談を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ハローワーク米沢、ハローワーク新庄、ハローワーク村山の実施となりました。

開催事務所・場所	回数	参加人数
山形(ハローワーク山形)	0回	0人
鶴岡(ハローワーク鶴岡・酒田)	0回	0人
米沢(ハローワーク米沢)	38回	946人
新庄(ハローワーク新庄)	45回	665人
寒河江(ハローワーク村山)	23回	441人
令和3年度末合計	106回	2,052人
(参考)令和2年度末合計	62回	1,245人

(3)その他の出張年金相談等の実施状況

①行政監視行政相談センターの「合同行政相談所」における年金相談会の実施

令和3年度においても、令和2年度同様に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催されませんでした。

事務所	開催場所	開催日	相談者数	対象地区
山形	山形市役所	未開催	—	山形地区
新庄	最上広域交流センター ゆめりあ	未開催	—	新庄地区
寒河江	寒河江市ハートフル センター	未開催	—	寒河江地区 村山地区
参考（令和元年度）		（3回）	（5名）	

②商業施設等における出張年金相談会の実施

平成30年度、県内で初めて大型商業施設を利用した年金相談会（11月の「ねんきん月間」及び11月30日「年金の日」の取り組み）を実施しましたが、継続した取り組みとして、令和3年度においては6月と11月に開催しました。

これまで、唯一の継続した「大型商業施設を利用した年金相談会」になりますので、広く、年金制度を啓発するために引き続き実施します。

令和3年度6月開催
イオンモール天童1階センターコートでの
年金相談会場



令和3年度6月開催
イオンモール天童1階センターコートでの
チラシ配布の様子



(4)地域相談事業の取組結果

取組結果

- ・ 市町村での出張年金相談は、年間計画に基づき開催しております。引き続き、市町村と連携を図り、お客様のニーズを把握し年金相談の利便性を確保します。
- ・ ハローワークにおける説明会での年金制度説明会については、3地区での実施となりましたが、引き続き、離職者に対する国民年金に関する手続きの周知を図るため、県内ハローワークの協力をいただき実施します。
- ・ 行政監視行政相談センターの合同行政相談所については、今年度の開催はありませんでしたが、引き続き積極的に対応します。
- ・ 商業施設等での出張年金相談会の開催については、今後も、開催の継続と会場の拡大を課題とし、県民が年金を身近に感じてもらう機会を増やすため、引き続き実施します。

4 年金委員活動支援事業

(1) 年金委員への情報提供

実施年月	対象年金委員	内 容
6 月	地域型	・ 広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
10 月	地域型	・ 広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
	職域型・地域型	・ 「ねんきん月間」取り組み資料の送付
12 月	地域型	・ 「日本年金機構アニュアルレポート2020」の送付（県内104名分）
1 月、2 月	職域型・地域型	・ 年金委員事務手続きの変更周知（押印省略）
2 月、3 月	地域型	・ 広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付

(2) 年金委員研修会の実施状況

例年、山形県内社会保険委員会各支部が主催する研修会に、積極的に講師として職員を派遣していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、研修会の開催が大幅に減少し、置賜地区社会保険委員会米沢支部主催研修会のみ講師派遣となりました。

日本年金機構本部主催の、日本年金機構テレビ会議システムを利用した「令和3年度全国年金委員研修会」については、山形県内では8名（職域型8名）の参加をいただきました。

事務所	回 数	受講者数	支援回数	合計
山 形	1 回	5 名	0 回	1 回
鶴 岡	0 回	0 名	0 回	0 回
米 沢	4 回	97 名	0 回	4 回
新 庄	0 回	0 名	0 回	0 回
寒河江	0 回	0 名	0 回	0 回
令和3年度末合計	5 回	102 名	0 回	5 回
（参考） 令和2年度末合計	5 回	57 名	10 回	15 回

(3)年金委員委嘱拡大の取り組み

職域型年金委員については、全国健康保険協会山形支部と協力し新規適用事業所に対する依頼文書の送付を基本に取り組み、退職等により解嘱の連絡が入った際は後任者の選出をお願いしました。各年金事務所とも文書勧奨に力を入れ、山形年金事務所は1,665件、鶴岡年金事務所は1,191件、米沢年金事務所は163件、新庄年金事務所は27件、寒河江年金事務所は570件の文書勧奨を行い、山形県としては116名の増加となりました。

地域型年金委員については、退職する職域型年金委員へ、地域型への移行のご案内を必須としてきました。拡大が厳しい状況ですが引き続き対応します。山形年金事務所は547件の文書勧奨、寒河江年金事務所は個別勧奨を中心にを行い増員となっています。関係団体(山形県社会保険協会、山形県年金協会連合会、山形県社会保険労務士会)には、定例会議等の際に、引き続き推薦をいただきますよう依頼しました。

(4)年金委員委嘱者数の推移

事務所	令和2年度末 (A)			令和3年度 (B)			増減 (B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
山 形	581	54	635	630	65	695	49	11	60
鶴 岡	400	15	415	441	13	454	41	▲2	39
米 沢	382	16	398	401	11	412	19	▲5	14
新 庄	133	7	140	129	6	135	▲4	▲1	▲5
寒河江	249	11	260	260	17	277	11	6	17
県内計	1,745	103	1,848	1,861	112	1,973	116	9	125
事業所数 (委嘱率)	19,557 (8.92%)	—		19,796 (9.40%)	—				

(5)年金委員の功労者表彰伝達式の実施

全国健康保険協会山形支部、山形県社会保険委員会連合会、山形県社会保険協会との共催により、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に表彰状が伝達されました。

【開催日】 令和3年11月19日(金)

【開催場所】 山形グランドホテル

【受賞者】	厚生労働大臣表彰	1名
	日本年金機構理事長表彰	4名
	日本年金機構理事表彰	11名

※健康保険委員からは厚生労働大臣表彰1名、全国健康保険協会理事長表彰2名、全国健康保険協会山形支部長表彰12名が受賞されました。



表彰受賞者記念撮影会の様子

※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

(6)年金委員活動支援事業の取組結果

取組結果

- ・ 職域型年金委員で組織されている社会保険委員会が主催する研修会等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、研修会自体が開催されず、講師を派遣し支援することはできませんでしたが、引き続き、積極的に支援します。また、課題としていた年金事務所が主催する研修会についても、引き続き、全国健康保険協会山形支部と協力し実施していくことで、企業において、制度周知が図られるよう取り組みます。

情報提供が中心の取り組みとなりましたが、「ねんきん月間に関する取り組みの資料」や「ねんきんネット普及促進」「年金手続きにかかる押印省略の取扱い」について、全委員へ郵送し、機構が取り組む事業の周知と事業への協力要請を行うことが出来ました。

- ・ 文書勧奨を中心に委嘱拡大を図っており、令和3年度末現在で県内の職域型年金委員総数は、前年度末委員数から116名増加しています。

社会保険適用事業所数に対する職域型年金委員数の割合(委嘱率)は、令和2年度末8.92%に対し、令和3年度末9.40%と増加しています。引き続き、全国健康保険協会山形支部と共同で文書勧奨を実施していくとともに、関係団体の会報等への掲載を依頼しながら委嘱拡大を進めていきます。なお、健康保険委員のみ設置の事業所に対しても同様に取り組んでいきます。

また、地域型年金委員数につきましては、9名増加していますが、更新を希望されない高齢者の方が多いこともあり、新たな委嘱拡大が引き続き重要課題となります。委嘱要請を行った、山形県社会保険協会や山形県年金協会連合会を始め、山形県社会保険労務士会等、関係団体からの委嘱拡大取り組みます。また、委員活動を支援するため、ご意見やご要望をお聞きする機会である、連絡会や研修会の充実を図っていきます。

5 「ねんきん月間」・「年金の日」の取組

日本年金機構は、厚生労働省と協力して11月を「ねんきん月間」、11月30日(いいみらい)を「年金の日」と位置付け、県民の皆様に年金制度を理解していただけるよう、積極的に公的年金制度の周知や啓発活動を行いました。

事務所	取組結果	
山形県内年金事務所 共通事業	令和3年度 年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式	ねんきん月間
	第13回山形県年金ポスターコンクール表彰式	
	市町村・年金委員に対し「ねんきん月間」ポスター、チラシ、「ねんきんネット」リーフレットの配布	ねんきん月間
	全国年金委員研修会	ねんきん月間
	令和3年度「山形県社会保険協会 社会保険事務講習会」	通常事業
	ハローワークにおける離職者を対象とした説明会	
	高校・大学等への年金セミナーアプローチ及び年金セミナー実施	
米沢年金事務所 新庄年金事務所	出張年金相談	通常事業
山形年金事務所	山形県退職者公務員連盟山形支部研修会	ねんきん月間

6 「わたしと年金」エッセイ

国民の皆様には年金制度に対する理解を深めていただくため、中学生以上を対象に公的年金をテーマとしたエッセイの募集を行いました。

周知・広報については、教育機関、関係機関(団体)にポスターやリーフレットの設置のご協力をいただいたほか、年金セミナーの実施とあわせて依頼しました。

【募集期間】 令和3年6月1日～令和3年9月10日

【賞】 厚生労働大臣賞、日本年金機構理事長賞ほか

【応募状況】 応募総数1,526点のうち、山形県の応募件数2点



「わたしと年金」エッセイポスター

7 第13回山形県年金ポスターコンクール

東北厚生局をはじめ、山形県社会保険協会等7団体に後援をいただき、県内の中学生を対象として、年金制度に親しんでいただくため、年金をテーマとしたポスターを作成していただきました。

【募集期間】 令和3年6月1日～令和3年9月17日

【賞】 最優秀賞1点、優秀賞5点、入選5点

東北厚生局長賞1点、山形県社会保険協会会長賞1点

【応募状況】 応募校13校、総数32点(昨年度11校、34点)

入賞者には、各年金事務所で中学校を訪問し表彰を行いました。



中学校での表彰式の様子

8 山形県地域年金事業運営調整会議

令和3年度 第17回会議(書面開催)にかかる主なご意見と対応状況

種類	ご意見	対応状況
令和2年度山形県地域年金展開事業取組結果報告書	・ コロナ禍において、説明会等の回数が総じて少なかったのですが、やむを得ないと思われます。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の収束は見通せませんが、令和2年度の実施状況等から改善・工夫の余地もあろうかと思われますので、これまで以上の取り組みを期待します。 ・ 様々な機会・対象に、年金に関する講話・セミナーを実施していくことは、社会の仕組みを理解した市民を育てていく上で、大切にしていきたいと思います。 さらに、収入を得、納税者としての実感の沸く時期の学習の機会も大切にしていきたいところです。そこで、事業所との連携によるセミナーの開催について手厚くされるよう検討をお願いいたします。 ・ 令和元年度の年金制度説明会で最も参加人数が多かった「企業・その他」で激減しております。コロナ禍で当然の結果とは思いますが、拡大策の検討は必要かと思えます。	・ ご意見ありがとうございます。令和3年度より非対面のオンライン開催ができる環境になりましたので、説明会等の回数が増加するよう活動していきます。 ・ ご意見ありがとうございます。事業所の説明会にもオンライン開催は有効と考えますので、オンライン開催できることを周知し実施につなげていきます。 ・ ご意見ありがとうございます。これまでの集合型による説明会は開催しづらい状況ですので、事業所の説明会にもオンライン開催を実施していきます。

事業種類	ご意見	対応状況
令和3年度山形県地域年金展開事業事業計画	・ コロナ禍におけるセミナー、説明会、研修会等の開催については、対面での実施が最も懸念されるところです。現状では、Web会議ツールの使用やDVDの配布等による非対面での実施がのぞましいものと思います。 また、大人数を参集し、スクリーンやテレビに写して実施するような場合にも、広い会場を確保し、換気・ソーシャルディスタンスにご留意されますようお願いいたします。 ・ 年金ポスターコンクールにつきましては、今後、より多くの学校に参加いただき、入賞者が特定の学校に偏らないようご配慮をお願いします。 ・ コロナ禍のなかほんとうにご苦勞様です。相談事業も含め各種事業においてオンライン化・デジタル化を推進していただければと思います。	・ ご意見ありがとうございます。令和3年度より非対面のオンライン開催ができる環境になりましたので、積極的に活用していきます。 ・ ご意見ありがとうございます。より多くの中学校に参加いただけるよう、ポスターコンクールの周知に努めていきます。 ・ ご意見ありがとうございます。令和3年度より非対面のオンライン開催ができる環境になりましたので、積極的に活用していきます。

事業種類	ご意見	対応状況
その他ご意見	・ 年金委員、健康保険委員の充実に向けて更に連携を強めていきたいと考えます。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されておりますが、引き続き地域社会に根ざした公的年金制度の啓発普及が図れますよう期待しております。	・ ご意見ありがとうございます。諸会議の場を活用し、引き続き連携に努めていきます。 ・ ご意見ありがとうございます。今後も、山形県地域年金展開事業の事業計画に基づき取り組んでいきます。

9 ねんきんネットの利用促進

「ねんきんネット」は、年金記録の確認、将来の年金見込額の試算、電子版「ねんきん定期便」の閲覧、各種通知書の確認や再交付申請に対応しており、年々機能も充実しています。また、24時間利用可能となっています。

年金事務所では、「ねんきんネット」の利用促進を図るため、ポスター掲示やチラシの設置・配布を行い多くの方々に利用していただけるようご案内しています。

利用するためには、「ねんきんネットID」が必要となりますが、アクセスキーがあれば、速やかに「ねんきんネットID」を取得することができます。

手続きの利便性を高めるため、年金事務所では利用を希望されたお客様にはアクセスキーを発行しています。